特集2

起きてからでは遅い!

患者と職員を守る防犯対策

近年、病院を舞台に、全国を震撼させるような事件が相次いでいる。2023年9月、静岡県内の病院で男が入院中の妻と長女を刺殺した後、自殺する事件が発生。同10月には埼玉県内の病院で男が診察室に向けて拳銃を発砲。医師と患者ら計3人が負傷するショッキングな事件が起きた。病院経営者にとって防犯対策の構築は喫緊の課題だが、プライバシー保護との兼ね合いや、セキュリティシステムの高額な導入費用などで二の足を踏んでしまうケースも多い。不特定多数の人が出入りする環境で、不審者をいかに排除し、犯罪を未然に防ぐか――。さまざまな制約があるなかで、実効性のある防犯対策を立てるためのポイントを探る。

(C) 2024 日本医療企画